

「この1冊が、わたしを変える。」大人気のライト文芸レーベル スタートズ出版文庫新刊 6月28日（水）全国書店にて発売開始！

小説投稿サイト「野いちご」「Berry's Cafe」「ノペマ！」を運営するスタートズ出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は「スタートズ出版文庫」の新刊を、6月28日（水）より全国書店にて発売開始いたします。

■スタートズ出版文庫新刊情報>> <https://novema.jp/bookstore/starts/202306>

■『ノペマ！』 <https://novema.jp/> ■『野いちご』 <https://www.no-ichigo.jp/> ■『Berry's Cafe』 <https://www.berrys-cafe.jp/>



『僕らに明日が来なくても、 永遠の「好き」を全部きみに』

夏木エル（なつきえる）／著
イラスト／比乃キオ（ひのきお）
定価781円（本体710円+税10%）
ISBN：978-4-8137-1447-7

【あらすじ】 高3の綾は、難病にかかっている残り少ない命であることが発覚。綾は生きる目標を失いつつも、過去の出来事が原因で大好きだったバスケットをやめ、いかげんな毎日を過ごす幼なじみの光太のことが心配だった。自分のためではなく、光太の「明日」のために生きることを見出した綾は…？ 大切な人のために1秒でも捧げたい——。全力でお互いを想うふたりの気持ちに誰もが共感。感動の恋愛小説が待望の文庫化！



『鬼の若様と偽り政略結婚 ～幸福な身代わり花嫁～』

編乃肌（あみのはだ）／著、イラスト／Shabon（しゃぼん）
税込660円（本体600円+税10%）
ISBN：978-4-8137-1448-4

【あらすじ】 時は、大正。花街の下働きから華族の当主の女中となった天涯孤独の少女・小春。病弱なお嬢様の身代わりに、女嫌いで鬼の血を継ぐ高良のもとへ嫁ぐことに。破談前提の政略結婚、三か月だけ花嫁のフリをすればよかったはずが「永久にお前を離さない」と求婚されて…。溺愛される日々を送る中、ふたりは些細なことで衝突し、小春は家を出て初めて会う肉親の祖父を訪ね大阪へ。小春を迎えにきた高良と無事仲直りしたと思ったら…そこで新たな試練が立ちはだかり!? 祝言をあげたいふたりの偽り政略結婚の行方は——？



『交換ウソ日記アンソロジー ～それぞれの1ページ～』

櫻いいよ(さくらいいよ)、いぬじゅん、加賀美真也(かがみしんや)、
蒼山皆水(あおやまみなみ)、雨(あめ)／著
イラスト／とろっち
税込726円(本体660円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1449-1

【あらすじ】 付き合っって十ヶ月、ずっと交換日記を続けている希美と瀬戸山。しかし、ある日突然、瀬戸山からのノートに「しばらく会えない」と記されていて——。その理由を聞くことが出来ない希美。瀬戸山も理由を聞かない希美に対して、意地を張って本当のことを言えなくなってしまふ。ギクシャクした関係を変えたいけれど、ふたりにはそれぞれ隠さなければいけないある秘密があつて…。そして、ついに瀬戸山から「もう交換日記をやめよう」と告げられた希美は——。「交換ウソ日記」の世界線で描かれる嘘から始まる短編、他四編を収録。

『龍神と生贄巫女の最愛の契り』

野月よひら(のづきよひら)／著、イラスト／カズアキ
税込693円(本体630円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1450-7

【あらすじ】 巫女の血を引く少女・律は母を亡くし、引き取られた妓楼で疎まれ虐げられていた。ある日、律は楼主の言いつけで、国の守り神である龍神への生贄に選ばれる。流行り病を鎮め、民を救うためならと死を覚悟し、湖に身を捧げる律。しかし、彼女の目の前に現れたのは美しい龍神・水羽だった。「ずっとあなたに会いたかった」と、生贄ではなく花嫁として水羽に大切に迎えられる…。優しく寄り添ってくれる水羽に最初は戸惑う律だったが、次第に心を開き、水羽の隣に自分の居場所を見つけていく。



『この涙に別れを告げて、 きみと明日へ』

白川真琴(しらかわまこと)／著、イラスト／ねこじし
税込682円(本体620円+税10%)
ISBN: 978-4-8137-1451-4

【あらすじ】 高2の凧は事故の後遺症により、記憶が毎日リセットされる。凧はそんな自分が嫌だったが、同級生と名乗る潮はなぜかいつもそばにいてくれた。しかし、潮は「思いださなくていい記憶もある」と凧が過去を思い出すことだけには否定的で……。どうやら凧のために、何かを隠しているらしい。それなら、嫌な過去なんて思いださなくていいと諦めていた凧。しかし、毎日記憶を失う自分に優しく寄り添ってくれる潮と過ごすうちに、彼のためにも本当の過去(じぶん)を思い出して、前へ進もうとするが——。

